

ゲノム編集基本特許の最近の動向

○橋本 一憲¹

¹特許業務法人セントクレスト国際特許事務所 代表社員（副所長） 弁理士

Recent trends in Genome-Editing Basic Patents

○Kazunori Hashimoto¹

¹CENTCREST IP ATTORNEYS

真核細胞で使用される CRISPR-Cas9 系の基本特許に関するカリフォルニア大学とブロード研究所の発明日の争いが、米国特許商標庁において遂に決着した。ノーベル賞の受賞ではカリフォルニア大学側が勝利を取っていたが、特許の世界では、より早い発明日が認定されたブロード研究所に軍配が上がった。とはいえ、この両者に対しては、シグマアルドリッチ社およびツールジェン社がそれぞれ発明日の争いを開始しており、いまだ最終的な決着が見えていない。

一方、日本では、真核細胞で使用される CRISPR-Cas9 系につき、カリフォルニア大学が他者よりも広範な基本特許を獲得しており、米国とは状況が異なっている。国によって、なぜ、このような違いが生じているのであろうか。

本講演では、CRISPR-Cas9 系の基本特許を中心に最近のゲノム編集特許の動向を説明するとともに、日米における状況の相違とその原因を分析し、今後への影響と見通しに言及する。